

会計報告・アンケートの結果と今年度の企画

「根の研究」も、いよいよ第2巻の発行開始となりました。今後とも会員の皆様の積極的なご協力をお願い申し上げます。まず、1992年度の会計報告であります。詳細は会告に掲載いたしましたので、ここでは概要をご報告いたします。1992年度の総収入から総支出を差し引くと約4.8万円の赤字となりますが、この総収入には1993年度以降の会費前納分が含まれていますので、1992年度分のみでは約16.3万円の赤字となっております。これは、「根の研究」の発行回数およびページ数の増加によるもので、個人の年会費を1000円で出発したところ、1人当たりの経費が約1600円となってしまいました。今年度から会費を値上げさせて頂きましたので、数年間の内に健全財政に近づけると考えております。なお、今回から事務局の負担を軽減するために、印刷および製本を業者委託といたしました。これによる経費の増加はわずかなものであります。

次に、会員の皆様にご協力いただいたアンケートの結果につきまして、事務局の責任で概要をとりまとめて簡単にご報告いたします。研究会の存在意義や現在の運営体制につきましては、全体としてご支持いただいているようです。編集委員は偏ることなく、できるだけ広い分野の方々で構成していきたいと考えております。性急に学会へ発展させ、学会誌を作るというよりは、根に興味がある者、材料、手法および問題意識は異なっても根について研究している者の交流の場となるのがこの研究会の役割であると考えている方が多いようです。ただし、少数ながら学会にして学会誌を発行することを強く希望している方もおります。その趣旨は、私達の活動を広く海外にも知らせたいということと理解し、今年国際シンポジウムを開催し、その結果を英文の印刷物として海外に配布することを予定しております。研究集会につきましても同様に、オリジナリティにこだわらず、自由な雰囲気大切にしたいという方が多いようです。「根の研究」につきましては、ひとによって重要度は異なるものの、現在の掲載項目にそれぞれ必要性があるようです。今後は会員の交流の場を作ることを考えていきたいと思っております。また、根に関する本の出版などもご希望があるようです。そこで、今年度中に、養賢堂から発行されている「農業および園芸」に根に関する記事の連載を開始することを企画しております。

今年度中に何らかの形で、会員の論文等のリストを作成したいと考えておりますので、見本を同封いたしました。業績目録ではなく、会員の便のためのものですので、論文の他、総説、講演要旨、書籍、新聞記事など（今回は時間、労力、スペースの関係上、1990-1992年に発表された根に関するものに限らせて頂きます）をお知らせ下さい。

1993年3月 事務局および編集委員会を代表して 森田茂紀

編集委員： 阿部 淳（幹事兼任）、小柳敦史、加藤 潔、竹中 真、中元朋実、波多野隆介、森田茂紀、山内 章（投稿原稿は幹事の阿部までお送り下さい。）
事務局：〒113 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部栽培研究室内 TEL：03-3812-2111内線5045,5465, FAX：03-3815-5851 阿部 淳、森田茂紀